

令和 2 年度 F D 実施報告書

学部・学科	キャリア開発学科
F D 取り組みへの理念・目標 【理念】キャリア開発学科の 3 ポリシーおよび第 7 次中期総合計画に基づき、教育目標に掲げる人材を育成するための学修支援と、それを可能にするための教員の教育と研究の質的向上を目指して FD に組織的に取り組む。 【目標】上記理念に基づき、学内（FD センター、他学部・他学科、事務局）および学外（企業、高等学校、大学など）との有機的な関連・連携を深めることにより FD の一層の推進・強化を図り、「教育課程・教育目標・目標内容の検証」「教育方法の改善・学修成果の可視化」「公開授業」などに学科をあげて取り組む。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
	1. 教育ワークショップの実施 本ワークショップは学科会議前に実施し、その結果を学科の FD の推進、入試の志願者対策、就職対策などに役立てるものである。 第 1 回 4 月 2 日 テーマ「令和 2 年度入試結果報告と令和 3 年度の入試について」 (情報提供：入試広報部) 令和 2 年度入試を振り返り、総括を行った。また、今後の対策、課題について意見交換を行った。 第 2 回 5 月 7 日 WEB 回覧で実施 テーマ「令和元年度内定者最終報告及び今年度計画について」 (情報提供：連携推進部) 過去 3 年間の卒業生の就職活動状況、本年度の就職支援内容、企業情報などについて、意見交換を行った。 第 3 回 6 月 4 日 テーマ「教育支援にかかわる学生対応の現状と課題」(情報提供：学生相談室) 全学及び本学科の学生の学生相談室の利用状況について、また、学生が抱える課題の傾向等について報告を受けた。その後、支援の在り方について意見交換を行った。 第 4 回 7 月 2 日 テーマ「入試結果の報告と令和 3 年度の学生募集について」 (情報提供：入試広報部) 本学科の志願者推移状況や、学生募集についての説明があった。令和 3 年度入試では初めて「総合型選抜」を実施することから、新入試制度を中心に意見交換を行った。 第 5 回 9 月 3 日 テーマ「下関市立大学の編入学における、求める人材および編入学就職状況について」(情報提供：下関市立大学 学務グループ入試班) 本年度から短期大学部全学での取り組みを開始した編入学支援に向けて、積極的

	に編入学に取り組んでいる下関市立大学から講師を招き、現状の説明と意見交換を行った。
第 6 回 9 月 9 日	テーマ①「令和 2 年度 就職状況について」（情報提供：連携推進部） 前学期までの 2 年生の就職活動状況について、報告があった。また、後学期へ向けての注意点等が示された。 テーマ②「科研費相談会」（情報提供：科研アドバイザー） 10 月の科研費申請に向けて、申請にあたっての注意点や申請書の書き方などについてアドバイスをもらった。
第 7 回 12 月 3 日	テーマ「就職状況について」（情報提供：連携推進部） 11 月までの就職内定状況について、報告があった。また、引き続いての支援内容や注意点等が示された。
第 8 回 3 月 4 日	テーマ「令和 3 年度教育ワークショップ内容」（本学科教育ワークショップ委員） 来年度のワークショップ計画案が示された。
第 1 回 9 月 第 2 回 3 月	2. 学科 FD 研修会の実施 全学的な「学生による授業アンケート」結果を学科内でオープンにし、授業改善のための研修会を実施した。学科主任、FD センター委員が運営にあたった。本年度の本研修会は、COVID-19 の影響などにより担当者間で資料を回覧し、反省点や改善数値目標等の報告を行う形式で実施した。最終的には、学生による授業アンケートの結果に基づき、反省点と改善目標を記載した資料を学科全教職員で共有した。 テーマ「令和元年度後学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」 テーマ「令和 2 年度前学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」 なお、該当授業開始直前の 9 月と 3 月に開催することで、授業改善の意識付けを狙った。また、本年度後学期に実施した中間授業アンケートの効果検証には着手したばかりである。
学科会議終了後	3. プロジェクト研究会の実施 令和 2 年度の本学科のプロジェクト研究課題は、「地域と連携した教育プログラムの開発ーインターンシップとフィールドワーク」である。本研究は、地域（企業、行政、NPO 法人、ボランティア団体等）と連携して、本学科の高次のアクティブラーニングとしてふさわしい「インターンシップ」（「インターンシップⅡ」として単位付与）と「フィールドワーク」（「フィールドワークⅠ・Ⅱ」として単位付与）の教育プログラムを開発することを目的にしている。 COVID-19 の影響でインターンシップやフィールドワークは予定通りに実施することが困難であった。そのような状況ではあったが、地域貢献活動としては、「子宮頸がん検診率向上 PJ」（那珂川市との協働）の一環として動画制作に取組み、完成した。また、「消しゴムはんこで年賀状 PJ」（UR 都市機構との協働）を 4 団地（荒江、金山、堤、宝台）で実施し、市政だよりも紹介された。さらに、フィー

11 月 10 日 ～11 月 30 日 2 月～3 月	ルドワークとしては、企画案 3 件（短大交流地域貢献活動プレゼン大会、地域猫プロジェクト、大牟田市の企業と連携した商品開発）を検討、令和 3 年度に実施に向けて準備を進めている。 4. 教育課程・教育目標・教育内容の検証 3 つのポリシーを踏まえて、学科主任、FD 推進委員、教務委員が中心となり令和 3 年度からの開講に向けてカリキュラムの改定を行った。今回の改定にあたっては、編入学対策や AI などの情報教育に力を入れることになったことから、それに配慮した。カリキュラムの改定に伴い、履修系統図（カリキュラムツリー）、カリキュラムマップ、履修モデルの改定を行った。 また、教養科目については、短期大学部共同科目として令和 3 年度は 3 科目追加開講される予定である。 5. 教育方法の改善・学修成果の可視化に向けた取組みの実施 5-1 専任教員が担当する科目については、科目ループリック及びレポートや発表の課題ループリックの見直しを行う一方、積極的に UNIPA にループリックをアップし、学生への周知を図った。また、ループリックの活用を促進するために、課題ループリックに基づいたレポート等の評価をスムーズに行えるよう Excel によるマクロシートの改良と新規開発を進めた。これらのシートは、特に大学基礎演習、ビジネス研究基礎、キャリア形成演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及びインターンシップⅠで活用した。 5-2 COVID-19 の影響で 4 月・5 月はすべて授業が WEB 授業となり、また後学期も講義科目を中心に WEB 授業となった。この結果、学生による必携化されたノートパソコン N-note 及びポータルサイト UNIPA の利用が促進された。 また、本学科の WEB 授業は基本的にオンデマンド型が多かった。7 月には、4 月・5 月の専任教員の WEB 授業に関するアンケートを学生対象に実施し、その結果を研究紀要で報告した。 5-3 3 つのポリシーに基づき、機関レベル、学位プログラムレベル（学科）、科目レベルで、教務部から提案された案を検討し、アセスメント・ポリシー（プラン）を策定した。 6. 公開授業を通じた授業改善の推進 6-1 本年度の公開授業は、後学期 3 週間にわたって WEB 授業資料を視聴するという形式で実施された。本学科における参観人数は 10 名、被参観人数は 5 名であった。 6-2 学生の保護者等を対象とする本学科独自の通年授業公開は、残念ながら COVID-19 の影響もあり参観者はいなかった。 7. 福岡工業大学短期大学部と連携した合同 FD 研修会の実施 テーマ「中村学園大学短期大学部における学生参加型の地域貢献活動」
--	---

	COVID-19 の影響により昨年度は中止したが、本年度は本学から前述のテーマで福岡工業大学短期大学部に情報提供を行い、それを視聴してもらった。そのうえで、意見、感想、質問等を寄せてもらう形式で実施した。それに対する本学からの回答に基づき報告書を作成して、福岡工業大学短期大学部に送付済である。また、短期大学部内でも共有を図っている。 可能であれば、来年度こそ対面あるいはオンラインで実施したいと考えている。
--	--

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	学科専任教員担当分の科目については、ゼミナールを除き導入済みである。令和 2 年度は、非常勤の担当科目への導入を予定していたが、実施することができなかった。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	本学科 FD 研修会にて、データを学科内で公開し、授業改善目標の数値化を図った。また、後学期は、学科の全授業担当者が中間の授業アンケートも実施しており、その効果についてはこれから検証を行っていく予定である。
教育方法の改善	アクティブラーニング(特に PBL)の推進 PBL：課題解決型授業	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	COVID-19 の影響でインターンシップやフィールドワークは予定通りに実施することが困難であった。そのような状況ではあったが、次年度の取組みに向けた準備を進めている。

「FD2014」はサイボウズのファイル管理－「FD センター」にあります